

「CSVデータの計算機能の使い方が分かりません」

CSVデータのポイント(点のデータ)を統計エリアデータ(面のデータ)に集計を行うことができます。この例では、500M×500Mのメッシュ一つに、いくつかのポイントを含んでいるかを統計エリア単位に集計し、結果を統計レイヤの1指標とするよう、集計してみます。

まず、CSVデータをインポートしておきます。この機能を使う場合は、統計データも同時にインポートしておく必要があります。以下の例の場合は、サンプルデータとして搭載されている「横浜市会員データ(サンプル)」のCSVデータを使っています。統計データは横浜市と川崎市の統計データを表示しています。

「CSV⇒統計レイヤに集計」メニューをダブルクリックすると、集計用のツールバーが表示されます。

ダブルクリック

500m統計データメッシュとCSVのポイントが地図上にも表示されています。

クリック

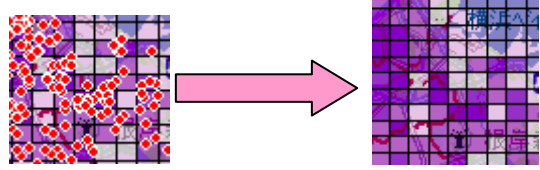
キーボードから好みの名称を入力することができます

新列名 会員数

集計実行

先ほどまで統計データには無かった指標が表示されます

会員数



集計終了後は、左の様に地図上にCSVのポイント表示と統計データ表示が重なった状態となりますので、CSVのポイントデータの表示を解除すると、見やすくなります。

メニューを右クリックしてインポートデータを削除すると上の様にポイントを地図から消すことができます。

横浜市会員データ(サンプル)